2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37108	ヒップホップ・ダンス Hiphop　dance	武田直也	○	専門	1	選択	1.2年前期

科目の概要

この科目はストリートダンスを通じて協調性や自己表現の向上、およびその歴史の背景を学び、その文化の知識を高める。この活動を通じて、4大精神の実践を進めていく。　★ダンス講師の経験を活かして、各種ステップの方法を上手く上達できるように見本を示しながら指導する。

学修内容	到達目標
① HIPHOPダンスの基礎的なステップや応用、そして振り付けの習得をする。 ② また、HIPHOPの歴史についても学ぶ。	① リズムの取り方、表現力を高め、自分の感情を開放する。 ② HIPHOPが誕生した背景などの歴史を把握する

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自ら進んでみんなの前で踊り、恥ずかしがらずに音と向き合って踊る
	働きかけ力	
	実行力	指導したダンスを復習する。
考え抜く力	課題発見力	自分が苦手なステップを自ら探る。
	計画力	
	創造力	
チームで働く力	発信力	指導する側に回り、みんなに分かりやすく説明する。
	傾聴力	
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	無断欠勤をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

特になし

他科目との関連、資格との関連

特になし

学修上の助言	受講生とのルール
細かく指導するだけではなく、なぜそのように動くのかを考えさせてから、答えに導く。	いきなり、答えを言わず、一人一人がダンスと向き合って答えに導くようにする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓			習得したステップをしっかりと踊れるかどうか、そして応用の振り付けも間違えずにしっかりと踊れるかを評価する。 細かい動きや音の取り方の理解等を重点に置く。
				②	✓			
	平常評価	小テスト	10	①	✓			HIPHOPの歴史について授業で説明したことを把握しているか確認する。穴埋め問題や、〇×問題を実施する。
				②	✓			
		レポート	10	①	✓			音楽性に関して各ジャンルの違いについて調べてもらい、自分の考えや価値観を添えて提出する。
				②	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓			チームを組んでみんなの前で披露する。協調性や、ルーティーンが正確に行えているかどうか判断する。
				②	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①				(主体性) ・自分の体力を把握し、積極的にダンスを実践しているか。 (実行力) ・ダンスの上達に向かって粘り強く取り組み、目標を達成しているか。 (課題発見力) ・自分のスキルを分析し、課題を見つけて対処しているか。 (発信力) ・発表の場で、自分の考えを提案し、表現することができているか。 (規律性) ・学習意欲の欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
私が指導したステップを完璧に踊り(A)、さらにどのようにしたらかっこよく輝いて踊れるのか自分なりに考え実行できた場合は(S)となる。	ステップの仕組みを理解して音にあって踊れているかどうかを(c)基準とする。(B)の場合はそこから力みすぎず、自信を持って踊れているかどうかで判断する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ダンスの知識とステップの紹介　体力づくり	ウォーミングアップ リズムどりや簡単なステップの紹介	音の取り方や平均的な体力がある。	習ったステップを復習する。	90	働きかけ力
2	ダンスの知識とステップの紹介　体力づくり	ウォーミングアップ リズムどりや簡単なステップの紹介	音の取り方や平均的な体力があり、前回実施したステップの仕組みを理解している。	リズムの取り方を復習する。	90	主体性 働きかけ力
3	HIPHOPの歴史	HIPHOPが誕生した背景を説明してノートに書かせる。プリントを配布する。	HIPHOPの歴史に関してしっかりと把握できたかを基準とする。	歴史についてのレポートを次回提出させる。	90	主体性
4	ダンスの知識とステップの紹介　体力づくり ステップの応用	ウォーミングアップ リズムどりや簡単なステップの紹介や手の使い方の説明	応用の部分の理解ができている。	応用ステップを次回までに習得してくる。	90	課題発見力
5	ステップの応用とルーティーンの指導	振付を指導する。	仲間との協調性や自主性を高めることができている。	指導した部分を次回までに完璧に踊れるようにする。	90	傾聴力 柔軟性
6	ステップの応用とルーティーンの指導	振付を指導する。 チーム分けをして覚える	仲間との協調性や自主性を高めることができている。	指導した部分を次回までに完璧に踊れるようにする。	90	発信力 情況把握力
7	ステップの応用とルーティーンの指導	振付を指導する。 フォーメーションも考えて踊る	仲間との協調性や自主性を高めることができている。	指導した部分を次回までに完璧に踊れるようにする。	90	発信力 情況把握力
8	ステップの応用とルーティーンの指導	振付を指導する。 フォーメーションも考えて踊る	仲間との協調性や自主性を高めることができている。	指導した部分を次回までに完璧に踊れるようにする。	90	発信力 情況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	チーム別発表会	各チームに分かれてみんなの前で披露してフィードバックしあう	意見がしっかりと言えて相手にアドバイスができる。	指導した部分がしっかりとおどれているかどうか	90	実行力 計画力
10	チームでの作品を制作する	みんなで１分程度の作品を作る	仲間との協調性や自主性を高める。意欲を高めこだわりを持つことができる。	音楽を決めてくる	90	計画力 創造力
11	チームでの作品を制作する	ルーティーンを考え踊るだけではなく、パートも分けて踊る	仲間との協調性や自主性を高める。意欲を高めこだわりを持つことができる。	次回踊る部分を製作してくる。	90	課題発見力 柔軟性
12	チームでの作品を制作する	仕上げ具合を見てアドバイスする。	仲間との協調性や自主性を高める。意欲を高めこだわりを持つことができる。	次回踊る部分を製作してくる。	90	情況把握力
13	チーム別発表会	各チームに分かれてみんなの前で披露してフィードバックしあう	意見がしっかりと言えて相手にアドバイスができる。	特になし	90	実行力
14	インストラクションの実施	指導側に回り、その結果をフィードバックしあう	指導方法や、相手の気持ちをしっかりと考えて指導できる。	基礎のステップの復習	90	傾聴力 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
15	インストラクションの実施	指導側に回り、その結果をフィードバックしあう	指導方法や、相手の気持ちをしっかりと考えて指導できる。	基礎のステップの復習	90	傾聴力 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力